

## 平成 17 年度手話通訳技能認定試験問題

### I 障害者福祉の基礎知識

### II 聴覚障害者に関する基礎知識

#### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 解答用紙は別に配る。解答用紙は、一枚で、左半分は「I 障害者福祉の基礎知識」、右半分は「II 聴覚障害者に関する基礎知識」の解答欄になっている。
3. 解答用紙に受験番号・氏名をまず記入すること。
4. 解答は、問題ごとに、解答用紙(マークシート)の所定の欄に記入すること。
5. 解答用紙(マークシート)の記入については、問題冊子の表紙の裏を参照すること。
6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

## マークシートの記入例

### 1. 氏名と受験番号の記入例

氏名が「新宿太郎」で、受験番号が「900123」である場合、下記のようになる。

フリガナ	シ ャ ジ ュ ヲ タ ロ ウ
氏 名	新 宿 太 郎

  

受 験 番 号					
9	0	0	/	2	3
①	①	①	●	①	①
②	②	②	②	●	②
③	③	③	③	③	●
④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
●	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	●	●	⑩	⑩	⑩

  

注 意 事 項
------------------

1. 必ず鉛筆(HB)を使用すること。

2. (受験番号欄)及び(解答欄)は、次の正しい例のようにマークすること。

正しい例 (○→●)

悪い例 (○→~~○~~ ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~)

3. マークは、2の正しい例に従い、枠の外にはみださないように注意すること。

4. マークを訂正する場合は、プラスチック製消ゴムで完全に消してからマークし直すこと。

### 2. 解答の記入例

各問には、1から4まで四つの選択肢があるので、そのうち正しい答えを一つ選び、解答用紙(マークシート)に記入すること。

[例]

**1** 日本の首都がある都市はどこか、下の中から一つ選びなさい。

1. 青 森
2. 東 京
3. 大 阪
4. 熊 本

正解は「2」であるので、下記のようにマークする。

問1 ①●③④

# I 障害者福祉の基礎知識

1 ノーマライゼーションに関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害者の生活条件・生活様式を、可能な限り一般の水準に近づけようとするものである。
2. 地域で生活する障害者を支援することを目指したものである。
3. 人権尊重の立場から、通勤寮・福祉ホームなどの利用は否定している。
4. 障害者の権利として、1日のノーマルなリズム、1週間のノーマルなリズムなどが保障されるべきである。

2 障害者福祉の理念や発展に関する組合せとして誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. バンク - ミケルセン (Bank-Mikkelsen, N.E.) ——— ノーマライゼーション
2. 糸賀一雄 ——— 発達保障
3. ニルジェ (Nirje, B.) ——— ユニバーサルデザイン
4. 高木憲次 ——— 療育

3 次のア～エの権利宣言を、古いものから順番に並べた場合どのようになるか、下の中から一つ選びなさい。

- ア. 児童権利宣言
- イ. 世界人権宣言
- ウ. 障害者の権利宣言
- エ. 知的障害者の権利宣言

- 1. イ→ア→エ→ウ
- 2. ウ→イ→ア→エ
- 3. ア→エ→イ→ウ
- 4. エ→イ→ア→ウ

4 次の文章は、第30回国際連合総会で決議された障害者の権利宣言の一部である。( )にあてはまる語句の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

障害者は、その人間としての(ア)が尊重される生まれながらの権利を有している。障害者は、その障害の(イ)、特質及び程度にかかわらず、同年齢の市民と同等の(ウ)を有する。

- |         |      |           |
|---------|------|-----------|
| 1. ア：自由 | イ：原因 | ウ：社会参加の権利 |
| 2. ア：尊厳 | イ：原因 | ウ：基本的権利   |
| 3. ア：意思 | イ：状況 | ウ：社会参加の機会 |
| 4. ア：尊厳 | イ：種類 | ウ：基本的人権   |

- 5 次の文の( )にあてはまる最も適切な語句の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

1980(昭和55)年国際連合・国際障害者年行動計画では、障害者とは、「その社会の他の異なったニーズを持つ(ア)と考えられるべきではなく、その通常の人間的なニーズを満たすのに特別の困難を持つ(イ)と考えられるべきなのである」としている。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. ア：少数の集団 | イ：多数の市民   |
| 2. ア：特別な集団 | イ：要支援者    |
| 3. ア：少数の集団 | イ：サービス利用者 |
| 4. ア：特別な集団 | イ：普通の市民   |

- 6 平成16(2004)年に改正された障害者基本法に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 障害を理由とした差別を禁じている。
2. 毎年12月3日から12月9日までを障害者週間としている。
3. 障害基礎年金のさらなる充実を国の責任として求めている。
4. 都道府県と市町村に対して障害者計画の策定を義務づけている。

7 次の文の( )にあてはまる数を、下の中から一つ選びなさい。

厚生労働省の平成13(2001)年身体障害児・者実態調査によると、わが国の18歳以上の在宅の身体障害者約324万5千人のうち、65歳以上は全体の約( )割を占め、5年前の同調査に比べても高齢化が進んでいるといえる。

1. 4
2. 5
3. 6
4. 7

8 次の文の( )にあてはまる最も適切な語句の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

平成15(2003)年度からの国の障害者基本計画では、計画の横断的な視点としてハード、ソフト両面にわたる社会のバリアフリー化(障壁となるものを除去すること)が掲げられているが、今日、障害のある人を取り巻く障壁には、物理的な障壁、(ア)、(イ)、意識上の障壁が存在すると認識されている。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. ア：資格上の障壁   | イ：教育的な障壁    |
| 2. ア：法律的な障壁   | イ：移動上の障壁    |
| 3. ア：社会習慣上の障壁 | イ：雇用面の障壁    |
| 4. ア：制度的な障壁   | イ：文化・情報面の障壁 |

9 身体障害者手帳交付の対象となる内部障害に含まれないものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 高次脳機能障害
2. 小腸機能障害
3. ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害
4. ぼうこう又は直腸の機能障害

10 次の文の( )にあてはまる最も適切な語を、下の中から一つ選びなさい。

身体障害者短期入所は、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、( )その他の厚生労働省令で定める施設への短期間の入所を必要とする身体障害者を短期間入所させ、必要な保護を行うものである。

1. 身体障害者福祉ホーム
2. 身体障害者療護施設
3. 身体障害者デイサービスセンター
4. 身体障害者福祉センター

11 身体障害者福祉法に基づく補装具に含まれないものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 補聴器
2. 移動用リフト
3. ストマ用装具
4. 人工喉頭こう



12 障害者福祉サービスにおける支援費制度に基づかないサービスを、下の中から一つ選びなさい。

1. 日常生活用具の給付事業
2. 知的障害者地域生活援助事業(グループホーム)
3. 身体障害者居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)
4. 児童デイサービス事業

13 次の文の( )にあてはまる最も適切な語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

障害児(者)地域療育等支援事業は、在宅の重症心身障害児(者)、知的障害児(者)、(ア)の地域における生活を支えるため、身近な地域で(イ)、相談等を行うものである。

- |               |        |
|---------------|--------|
| 1. ア：身体障害児(者) | イ：発育指導 |
| 2. ア：重複障害者    | イ：生活指導 |
| 3. ア：身体障害児    | イ：療育指導 |
| 4. ア：要介護高齢者   | イ：自立訓練 |

- 14 次の文の( )にあてはまる最も適切な語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

児童福祉法では、「児童とは、満18歳に満たない者をいい」と規定し、そのうち(ア)から(イ)に達するまでを幼児としている。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. ア：満1歳 | イ：6歳      |
| 2. ア：0歳  | イ：7歳      |
| 3. ア：満1歳 | イ：小学校就学始期 |
| 4. ア：0歳  | イ：小学校就学始期 |

- 15 次の文の( )にあてはまる最も適切な語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

児童福祉法による児童居宅生活支援事業とは、(ア)、(イ)、(ウ)などをいう。

- |                 |              |            |
|-----------------|--------------|------------|
| 1. ア：児童居宅介護等事業  | イ：児童デイサービス事業 | ウ：児童短期入所事業 |
| 2. ア：児童デイサービス事業 | イ：児童短期入所事業   | ウ：盲ろうあ児施設  |
| 3. ア：児童居宅介護等事業  | イ：児童短期入所事業   | ウ：知的障害児施設  |
| 4. ア：児童デイサービス事業 | イ：障害児相談支援事業  | ウ：知的障害児施設  |

16 障害者・障害児を対象とした福祉サービス・機関と、それらを規定している法律との組合せとして誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 更生医療 ————— 身体障害者福祉法
2. 知的障害者更生相談所 —— 知的障害者福祉法
3. 身体障害者手帳 ————— 障害者基本法
4. 育成医療 ————— 児童福祉法

17 次の文の( )にあてはまる最も適切な語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

厚生労働省の平成14(2002)年3月障害者ケアガイドラインによれば、障害者ケアマネジメントは「障害者の地域における生活を支援するために、ケアマネジメントを希望する者の意向を踏まえて、福祉・保健・医療・教育・就労などの幅広い(ア)と、様々な地域の社会資源の間に立って、複数のサービスを適切に結びつけて調整を図るとともに、総合的かつ継続的なサービスの供給を確保し、さらには(イ)の改善及び開発を推進する援助方法である」とされている。

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1. ア：ニーズ  | イ：社会資源   |
| 2. ア：サービス | イ：居住環境   |
| 3. ア：ニーズ  | イ：福祉サービス |
| 4. ア：関係機関 | イ：社会資源   |

18 次のア～エの精神障害者保健福祉に関する法律を、成立が古いものから順番に並べた場合どのようなようになるか、下の中から一つ選びなさい。

- ア. 精神保健法
- イ. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
- ウ. 精神衛生法
- エ. 精神保健福祉士法

1. ア→イ→ウ→エ
2. ウ→ア→エ→イ
3. ア→ウ→エ→イ
4. ウ→ア→イ→エ

19 精神障害者の社会復帰の促進を図るために都道府県、市町村、社会福祉法人、医療法人などが設置できるとされた5つの施設に含まれないものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 精神障害者福祉工場
2. 精神障害者福祉ホーム
3. 精神障害者地域生活支援センター
4. 精神障害者医療保護施設

20 次の文の( )にあてはまる数の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

「障害者の雇用の促進等に関する法律」は一般の民間企業に対しては  
(ア)%、国・地方公共団体(都道府県の教育委員会を除く)に対しては  
(イ)%の障害者雇用率を定めている。

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. ア：1.6 | イ：1.8 |
| 2. ア：1.8 | イ：2.0 |
| 3. ア：2.1 | イ：2.1 |
| 4. ア：1.8 | イ：2.1 |

## Ⅱ 聴覚障害者に関する基礎知識

1 厚生労働省が実施する身体障害者実態調査に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 身体障害者実態調査は、昭和 26 (1951) 年からほぼ 5 年毎に実施されている。
2. 高齢化に伴い、聴覚・言語障害者の数は、最近の過去 3 回の調査において増加してきている。
3. 聴覚・言語障害者の身体障害者総数に占める割合は、最近の過去 3 回の調査において 10～15 パーセントの範囲である。
4. 聴覚・言語障害者総数に対する 65 歳以上の聴覚・言語障害者の割合は、最近の過去 3 回の調査において高くなってきている。

2 次の文章の( )にあてはまる数の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

厚生労働省の平成 13 (2001) 年度身体障害児・者実態調査によると、我が国の 18 歳以上の在宅の聴覚・言語障害者は約(ア)人、18 歳未満の在宅の聴覚・言語障害児は約(イ)人と推定されている。また、厚生労働省の平成 10 (1998) 年度障害者雇用実態調査によると従業員規模 5 人以上の事業所に雇用されている常用労働聴覚・言語障害者は約(ウ)人と推定されている。

- |                |            |             |
|----------------|------------|-------------|
| 1. ア：34 万 6000 | イ：4200     | ウ：4 万 3000  |
| 2. ア：44 万 6000 | イ：1 万 7200 | ウ：10 万 3000 |
| 3. ア：24 万 6000 | イ：1 万 200  | ウ：3 万 3000  |
| 4. ア：34 万 6000 | イ：1 万 5200 | ウ：6 万       |

3 次の文の( )にあてはまる数を、下の中から一つ選びなさい。

文部科学省の平成 16(2004)年度学校基本調査によると、平成 16(2004)年 3 月の聾学校高等部(本科)卒業者のうち大学等進学者数(大学・短期大学の通信教育部、高等部専攻科への進学者数を含む)は、卒業者総数の(ア)%であり、就職者数は、(イ)%であった。

- |           |        |
|-----------|--------|
| 1. ア：13.7 | イ：62.3 |
| 2. ア：20.8 | イ：56.2 |
| 3. ア：31.2 | イ：45.3 |
| 4. ア：47.0 | イ：31.7 |

4 次の文の( )にあてはまる数を、下の中から一つ選びなさい。

全国聴覚障害教職員協議会の平成 16(2004)年度全国聴覚障害教職員現勢調査によると、全国の聾学校で在職している聴覚障害を有する教諭・助教諭の総数は約( )人である。

1. 30
2. 90
3. 600
4. 1100



5 身体障害者福祉法における聴覚障害者の障害程度等級に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 一側耳の聴力レベルが 90 デシベル以上、他側耳の聴力レベルが 50 デシベル以上の者は 6 級に該当する。
2. 両耳の聴力レベルがそれぞれ 70 デシベル以上の者は 6 級に該当する。
3. 両耳の聴力レベルがそれぞれ 80 デシベル以上の者は 5 級に該当する。
4. 両耳の聴力レベルがそれぞれ 100 デシベル以上の者は 2 級に該当する。

6 人工内耳に関する記述として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 耳に全部埋め込む人工臓器で、聞こえる人の耳と同じ機能を果たす。
2. 体外の装置で音を分析して、その結果を鼓膜に伝える。
3. 音の情報をある程度分析して、それを耳の神経に直接伝える。
4. 人工的な鼓膜を取り付けて、聞こえるようにする。

7 補聴器を装用したとき、補聴器からピーッという音がでることがある。この音についての最も適切な説明を、下の中から一つ選びなさい。

1. 補聴器の故障を知らせるための音である。
2. 補聴器の電池がなくなりかけていることを知らせるための音である。
3. 補聴器を使っていることを、相手に知らせるための音である。
4. 補聴器からでる音が耳栓からもれて、再び補聴器に入ってしまうためにでる音である。

8 身体障害者福祉法に基づいて聴覚障害者の障害程度等級を認定する場合の聴力測定に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 聴力レベルは、周波数 250、500、1000 ヘルツの純音に対する聴力レベルの平均値として示される。
2. 聴力障害を表すにはオーディオメータによる測定方法を中心とする。
3. 聴力測定は、補聴器を装着しない状態で行う。
4. 検査は、防音室で行うことを原則とする。

9 次の文の( )にあてはまる最も適切な語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

純音聴力検査の結果を表示するオーディオグラムの形式は、横軸に( ア )をとって、縦軸には( イ )をとるよう定められている。

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. ア：周波数   | イ：聴力レベル |
| 2. ア：デシベル  | イ：ヘルツ   |
| 3. ア：周波数   | イ：ヘルツ   |
| 4. ア：聴力レベル | イ：デシベル  |

10

次の文章の( )にあてはまる語を、下の中から一つ選びなさい。

教室内の騒音で先生の話が聞き取れなくなることがある。このようにある音が別の音によって、消されたり聞こえにくくなる現象を( )という。

1. ヒアリングロス
2. カクテルパーティ効果
3. マスキング
4. カバーヒアリング

11

聴覚器官に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 耳介から鼓膜までが外耳とよばれている。
2. 耳介から耳小骨までが伝音系とよばれている。
3. 蝸牛は、音を神経系で処理可能な電気信号に変換する役割をしている。
4. 鼓膜や耳小骨に障害があると、感音性難聴が起こる。

- 12 次の文章は、平成 15(2003)年度からの国の障害者基本計画の一部である。  
( )にあてはまる最も適切な語句の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

聴覚障害者情報提供施設については、全都道府県での整備を促進する。

放送事業者の協力も得て、字幕番組、解説番組、(ア)など障害者に配慮した情報提供の一層の拡充のための施策を推進する。

点字図書、(イ)など視聴覚障害者への情報提供サービスの充実を図るとともに、公共サービスにおいては、点字、録音物等による広報の促進を図る。また、字幕付きビデオ作成に係る(ウ)の運用改善を図る。

- |             |           |          |
|-------------|-----------|----------|
| 1. ア：文字放送   | イ：録音図書    | ウ：著作権    |
| 2. ア：手話番組   | イ：字幕付き番組  | ウ：入力システム |
| 3. ア：デジタル放送 | イ：録音図書    | ウ：入力システム |
| 4. ア：手話番組   | イ：字幕付きビデオ | ウ：著作権    |

- 13 聴覚障害者運動の歴史に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 昭和 44(1969)年、全日本聾啞<sup>ろうあ</sup>連盟から「わたしたちの手話(1)」が刊行された。
2. 昭和 50(1975)年、第 11 回世界ろう者会議が東京で開催された。
3. 平成 2(1990)年から NHK 教育テレビで「聴覚障害者向けニュース」の放送が開始された。
4. 平成 2(1990)年 4 月、筑波技術短期大学に聴覚部第 1 期生が入学した。

14 聴覚障害教育に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 平成 14(2002)年の学校教育法施行令の一部改正に伴い、聾学校の就学基準として「聴力レベル 100 デシベル以上」が明記されることになった。
2. 聾学校には、一般的に幼稚部、小学部、中学部、高等部が設置され、それぞれ幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた教育を行っている。
3. 難聴特殊学級の指導に当たっては、実態に即して通常の学級との交流による学習活動を適切に行うなどして固定的な学級の指導に陥ることのないよう配慮することが大切である。
4. 「通級による指導」を受けている難聴児は、通常の学級に在籍している。

15 人間は加齢に伴って生理的に聞こえの低下をきたし、これを一般に老人性難聴という。この老人性難聴についての記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 高い周波数帯域で聴力レベルが低下する。
2. 聞こえの悪さを自覚するのは、聴力レベルがかなり低下してからである。
3. 両耳とも同じように聴力レベルが低下する場合が多い。
4. 低い周波数帯域で聴力レベルが低下する。

16 次の文の( )にあてはまる最も適切な語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

わが国の聴覚障害児教育のはじまりとされる(ア)は明治11(1878)年、(イ)によって開設された。

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1. ア：楽善会訓盲院                | イ：古河太四郎 |
| 2. ア：京都盲 <sup>もうあ</sup> 啞院 | イ：古河太四郎 |
| 3. ア：東京訓盲啞院                | イ：小西信八  |
| 4. ア：東京盲啞学校                | イ：小西信八  |

17 身体障害者補助犬法に定める聴導犬についての記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 聴導犬の訓練事業者は、聴導犬を育成した場合、その聴導犬の使用状況の調査を行い、必要に応じて再訓練を行わなければならない。
2. 聴導犬を使用する聴覚障害者は、自ら聴導犬の行動を適切に管理することができる者でなければならない。
3. 聴導犬である旨を表示すれば、その能力の認定を受けなくても公共交通機関を利用することができる。
4. 聴導犬を使用する聴覚障害者は、その聴導犬について体を清潔に保つとともに、予防接種および検診を受けさせることにより、公衆衛生上の危害を生じさせないように努めなければならない。

18 次の文章の( )にあてはまる最も適切な語の組合せを、下の中から一つ選びなさい。

重度身体障害者日常生活用具給付等事業に基づいて給付される(ア)は、聴覚障害者であって本装置によってテレビの視聴が可能な者を給付対象にしている。そして、この装置の性能は、字幕および手話通訳付の聴覚障害者用番組ならびにテレビ番組に字幕および手話通訳の映像を(イ)したものを画面に出力する機能を有し、かつ、災害時の聴覚障害者向け(ウ)を受信するもので聴覚障害者が容易に使用し得るものでなければならない。

- |                   |      |        |
|-------------------|------|--------|
| 1. ア：重度障害者用意思伝達装置 | イ：作成 | ウ：緊急放送 |
| 2. ア：聴覚障害者用通信装置   | イ：表示 | ウ：緊急連絡 |
| 3. ア：聴覚障害者用屋内信号装置 | イ：制作 | ウ：緊急番組 |
| 4. ア：聴覚障害者用情報受信装置 | イ：合成 | ウ：緊急信号 |

19 郵便法に基づいて低廉な料金で郵送できる聴覚障害者用小包郵便物に関する記述として誤っているものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 聴覚障害者のために画像に字幕または手話を挿入したビデオテープを内容とするものである。
2. 聴覚障害者と聴覚障害者の福祉の増進を目的とする施設との間に発受するものである。
3. 料金は、冊子小包郵便物の料金の25パーセントである。
4. 重量が3kgを超えないものである。

- 20 次の文章の( )にあてはまる最も適切な語句の組合せを、下の中から一つ  
選びなさい。

我が国のろう教育において、大正の末期から口話法による教育が活発化し、全  
国で口話法による指導が行われるようになっていった。この時期に、大阪市立聾  
啞学校の(ア)は、口話法による一律な指導よりも、それぞれの子供の適性に  
応じて(イ)を用いるという大阪市立聾啞学校法を提唱したが、口話法の展開  
の中で実を結ばなかった。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. ア：萩原浅五郎 | イ：手話・書き言葉   |
| 2. ア：川本宇之助 | イ：手話・文字     |
| 3. ア：高橋潔   | イ：口話・手話・指文字 |
| 4. ア：西川吉之助 | イ：手話・ジェスチャー |